

入学式の「学校長式辞」(前編)です。

4月7日(土)、「茨城県立並木中等教育学校 第11回入学式」を挙行いたしました。
今号と次号(第326号)で「学校長式辞」の全文を掲載します。2087字・約10分間の式辞です。印象派を代表する画家「クロード・モネ」が登場します。

◆4月7日の入学式での「学校長式辞」—前編—◆ テーマ:「モネ先生に学ぶ」 式辞

- 春の暖かい日差しを受け、明るく清らかな季節となりました。本日ここに、つくば市教育長門脇厚司様はじめ、ご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、**並木中等教育学校第11回入学式**を挙行できますことは、私どもとしまして大きな喜びであり、本校教職員を代表しまして深く感謝申し上げます。
- ただいま入学を許可しました**160名**の新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。皆さんの**キラキラ輝く目**がとてもまぶしく感じられます。私たち教職員を始め、在校生全員が、皆さんの入学を心から歓迎いたします。
- また、これまでお子様の成長を温かく見守ってこられた保護者の皆様、ここに晴れて中等教育学校入学という節目を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。
- さて、**開校11年目**を迎えました本校では、「**Be a top learner!**」を校是に掲げ、「人間教育」「科学教育」「国際理解教育」を柱とした**6年一貫の教育**を行い、日本の未来、さらには世界の未来の発展を担う、グローバルリーダーの育成に取り組んでおります。
- 新入生の皆さんは、たいへん高い倍率の入学者選抜を経て、見事合格の栄冠を勝ち取りました。そのような皆さんのこれからの学校生活を期待して、一人の画家の話をしてしたいと思います。その画家の名は、**クロード・モネ**。1840年、フランスのパリで生まれた、**印象派**を代表する画家です。モネの名前を知らなくても、池に浮かぶ「**睡蓮**」の絵を見たことがある人は多いと思います。
- 2015年の秋、東京都美術館で開催されていた「**モネ展**」で、1872年に描かれた「**印象・日の出**」という絵を観ました。この絵のタイトルが、「印象派」という絵画グループの呼び名の由来となったのです。現在、西洋絵画を代表する一枚ですが、発表当時、たいへん評価が低かったそうです。
- それは、港で見た日の出の様子を、下書きを一切せず短時間で描き、筆あとを残していたからです。当時、評価が高かったのは、綿密な下書きののちに時間をかけて丁寧に描き、筆あとを残さない絵画でした。
- モネは、10代の頃から86歳で亡くなるまで、画風やモチーフを変化させながら、絵画を探究し続けた画家でした。また、同じモチーフを異なった時間、異なった光のもとで何枚も描いています。私は、そのような、モネの**探究心**、**学び続ける姿勢**が大好きです。
- 本日は、私から新入生の皆さんに**3つのこと**を伝えたいと思います。(次号に続く)

